

産業廃棄物処理計画書

2023 年 6 月 20 日

新潟市長様

提出者

住所

新潟県新潟市中央区万代1-3-4

氏名

鹿島建設株式会社北陸支店
執行役員支店長 木村 淳二

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

025-243-3800

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鹿島建設株式会社北陸支店
事業場の所在地	新潟県新潟市中央区万代1-3-4
計画期間	令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D6 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 271億円
③従業員数	271名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (4 年度) 実績】									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラス	がれき	混合廃棄物	
排出量	1,494.10 t	9.00 t	2.20 t	22.70 t	28.70 t	32.80 t	10,520.20 t	75.30 t	
産業廃棄物の種類									
排出量									
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラス	がれき	混合廃棄物	
排出量	1,494.10 t	9.00 t	2.20 t	22.70 t	28.70 t	32.80 t	10,520.20 t	75.30 t	
産業廃棄物の種類									
排出量									
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ゼロエミッション活動に準じて分別								
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ゼロエミッション活動に準じて分別 社員教育								

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（年度）実績】		汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラス	がれき	混合廃棄物
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】		汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラス	がれき	混合廃棄物
② 計画	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（年度）実績】		汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラス	がれき	混合廃棄物
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】		汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラス	がれき	混合廃棄物
② 計画	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状		【前年度（年度）実績】							
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラス	がれき	混合廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
産業廃棄物の種類									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラス	がれき	混合廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
産業廃棄物の種類									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の計画)									
① 現状		【前年度（4年度）実績】							
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラス	がれき	混合廃棄物	
全処理委託量	1,494.10 t	9.00 t	2.20 t	22.70 t	28.70 t	32.80 t	10,520.20 t	75.30 t	
優良認定処理業者への処理委託量	4.20 t	4.90 t	0.10 t	21.10 t	16.40 t	15.10 t	40.30 t	41.40 t	
再生利用業者への処理委託量	1,494.10 t	9.00 t	2.20 t	22.70 t	28.70 t	32.80 t	10,520.20 t	75.30 t	
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
産業廃棄物の種類									
全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
電子マニフェストの積極活用									

【目標】										
① 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラス	がれき	混合廃棄物	
	全処理委託量	1,494.10 t	9.00 t	2.20 t	22.70 t	28.70 t	32.80 t	10,520.20 t	75.30 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	4.20 t	4.90 t	0.10 t	21.10 t	16.40 t	15.10 t	40.30 t	41.40 t	
	再生利用業者への処理委託量	1,494.10 t	9.00 t	2.20 t	22.70 t	28.70 t	32.80 t	10,520.20 t	75.30 t	
	認定熱回収業者への処理委託量									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量									
	優良認定処理業者への処理委託量									
	再生利用業者への処理委託量									
認定熱回収業者への処理委託量										
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量										
(今後実施する予定の取組)										
電子マニフェストの積極活用										
※事務処理欄										

別紙 1

5. 副産物の種類とリサイクル・処分方法一覧表

- ・再使用をまず検討し、次に再資源化、最後の手段として処分を考える。
- ・この表は主として新築工事から発生する副産物を対象としている。解体工事から発生する副産物については「11章 解体・リニューアル対策」参照のこと。

【凡例】 手続欄の「A」～「F」：「6. 副産物の分類と手続き一覧」参照

「※」：現場内でも取り組める手段

「R1」：資源有効利用促進法の指定副産物

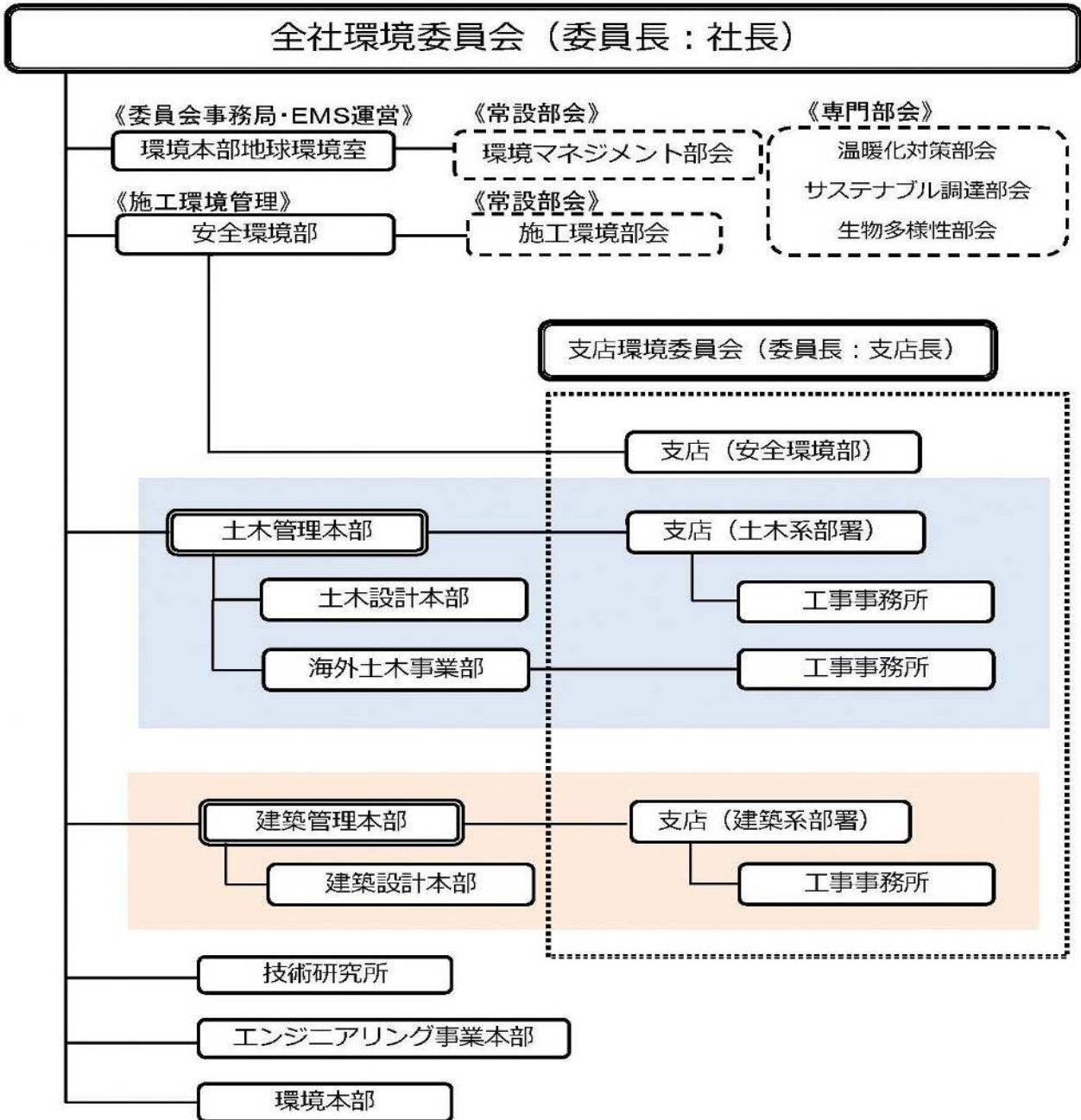
「R2」：建設リサイクル法の特定建設資材廃棄物

区分	種類	内容	計画優先順位					
			再使用	手続	再資源化	手続	処分	手続
現場内発生副産物	発生土 R1	砂・砂利 掘削土 地盤改良土	埋戻し土※ 造成材	E F	改質 ・造成材※			
	汚泥	杭・SMW 泥水 シールド汚泥 泥状の掘削土 粉末状セメント	埋戻し材※ (自ら利用)	F	再生 ・流動化土※ ・焼成砂 ・セメント原燃料	A E F	脱水 ・天日乾燥 ※	A
		ベントナイト泥水	ベントナイト泥水	E	・ベントナイト泥水			
	コンクリートがら R2	はつりがら・残コン 固化したセメント			破碎 ・再生砕石※	A E F		
	アスファルト・コンクリートがら R2	アスファルト舗装の解体がら CBくず	路上再生工法		破碎 ・再生アスコン※	A		
	木くず R2	型枠材	型枠再使用※ (転用)	D	破碎 ・製紙用チップ ・ボード用チップ ・燃料用チップ	A	焼却	A
		足場材・バタ角 解体木くず 梱包材 パーティクルボード			・たい肥用チップ※ ・マルチング用チップ※	A F		
		伐採材、抜根材						
	金属くず (スクラップ)	鉄骨鉄筋くず 金属加工くず 金属型枠 ファスナー金物類 番線・LGS・パイプ ダクト雑材 スチールサッシ ダンパ・配管くず類			再生 ・電炉鋼	B		
		電線類			・再生鋼	B		
	ガラスくず タイルくず	石膏ボード			再生 ・土壌改良材	A	破碎	A
		岩綿吸音板・ALC ロックウール保温材 グラスウール保温材			メーカーリサイクル	C		
耐火被覆くず (ロックウール吹付)		再吹付け※	F			圧縮※1	A	
ケイカル板くず れんが・石類				メーカーリサイクル				
衛生陶器類、タイル				メーカーリサイクル	C	破碎	A	

| 高 ← 計画優先順位 → 低 |

区分	種類	具体的内容	再使用	手続	再資源化	手続	処分	手続
現場内発生副産物	廃プラスチック類	養生シート・梱包ビニール 養生残材 電線被覆くず 樹脂製梱包材（シート・バンド・袋類）			・RPF ・セメント原燃料 ・高炉還元材 ・ペレット化	A	破碎 圧縮 熔融	A
		発泡ウレタン			・軽量骨材 ・セメント原燃料 ・高炉還元材	A	破碎 熔融	A
		プレート類 タイルカーペット 長尺シート・PVA廃材			・セメント原燃料 ・高炉還元材	A	破碎 熔融※1 破碎	A
		塩ビ管			再生	B		
		塩ビ床シート			メーカーリサイクル	C		
		発泡スチロール 発泡ポリスチレン			再生 ・再生油 ・セメント原燃料	A		
	段ボール	梱包材	養生・梱包材※		再生 ・再生段ボール	B	焼却	A
	紙くず	マスキングテープ類 紙クロス・紙袋・梱包紙類 ポイド			・RPF ・セメント原燃料	A	焼却	A
	繊維くず	水系類 布テープ類 布クロス ウエス類			・セメント原燃料	A	焼却	A
	混合廃棄物	コンクリートがら～繊維くずの分別困難なもの					選別	A
廃油 有機溶剤	塗料・シンナー類 プライマー・防水材 配管切削油 油含みウエス 重機の潤滑油・軽油 接着剤・アスファルト類			再生 ・再生油	A	焼却 油水分離	A	
事務所 詰所内発生副産物	金属くず (スクラップ)	飲料缶			再生 ・再生アルミ ・棒鋼・ブリキ	B		
	廃プラスチック類	ペットボトル			再生		圧縮 破碎	
		弁当ガラ						
	紙くず	不要書類・コピー類 梱包紙 新聞紙・雑誌類	裏面使用※		再生 ・コピー紙 ・トレットペーパー ・ティッシュペーパー	B	清掃工場にて 焼却	
	段ボール	梱包材	梱包材※		再生 ・再生段ボール	B	清掃工場にて 焼却	
その他ゴミ	生ゴミ 家具・備品類 タバコの吸いがら					清掃工場にて 焼却		

1.環境マネジメント推進体制図



(2019年4月)

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	鹿島建設株式会社北陸支店執行役員支店長 木村 淳二	提出者の住所	新潟県新潟市中央区万代1-3-4
事業場の名称	鹿島建設株式会社北陸支店	事業場の所在地	新潟県新潟市中央区万代1-3-4
内容年度	年度		

（単位：トン）

廃棄物の種類	現状 ／ 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
汚泥	現状	1,494.10					1,494.10	4.20	1,494.10		
	計画	1,494.10					1,494.10	4.20	1,494.10		
廃プラスチック	現状	9.00					9.00	4.90	9.00		
	計画	9.00					9.00	4.90	9.00		
紙くず	現状	2.20					2.20	0.10	2.20		
	計画	2.20					2.20	0.10	2.20		
木くず	現状	22.70					22.70	21.10	22.70		
	計画	22.70					22.70	21.10	22.70		
金属くず	現状	28.70					28.70	16.40	28.70		
	計画	28.70					28.70	16.40	28.70		
ガラス	現状	32.80					32.80	15.10	32.80		
	計画	32.80					32.80	15.10	32.80		
がれき	現状	10,520.20					10,520.20	40.30	10,520.20		
	計画	10,520.20					10,520.20	40.30	10,520.20		
混合廃棄物	現状	75.30					75.30	41.40	75.30		
	計画	75.30					75.30	41.40	75.30		
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合 計	現状	12,185.00					12,185.00	143.50	12,185.00		
	計画	12,185.00					12,185.00	143.50	12,185.00		